

# RS 175

## Digital Wireless Headphone System





取扱説明書



## 安全に関する注意事項

- ▶ 製品をお使いになる前に、本取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ 製品を第三者に渡す場合は、必ずセーフティガイドも一緒に渡してください。
- ▶ 不備があると分かっている製品を使用しないでください。

### 健康被害と事故の防止

- ▶ 大音量での使用は避けてください。ヘッドホンを大音量にして長時間にわたって使用すると、聴力に長期的な悪影響を与えることがあります。Sennheiser ヘッドホンは中・低音量の場合に特に優れた音質を再現します。 
- ▶ 道路を歩く場合や技術を要する作業の際など、特別な注意が必要な状況では製品を使用しないでください。
- ▶ 本製品は、心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器 (ICD)、およびその他のインプラントの障害につながる可能性のある、非常に強力な永久磁場を発生します。磁石を含む製品コンポーネント (イヤフォンと充電ボックス) はペースメーカー、埋め込み式除細動器、または他のインプラントから常に少なくとも 10cm 以上離してご使用ください。 
- ▶ 水気のあるところでこの製品を使用しないでください。また、火災や感電の原因となりますので、雨や湿気にさらさないでください。
- ▶ 事故を防ぐため、製品、梱包、アクセサリーの部品は子供やペットの手が届かないところに保管してください。飲み込むと窒息する危険性があります。
- ▶ 必ず、Sennheiser 提供の電源ユニットを使用してください。

### 製品の損傷や誤動作の防止

- ▶ 腐食や変形を防止するために、製品を常に乾燥した状態に保ち、極端な高・低温を避けて保管してください。正常な動作時温度は 0 ~ 40°C です。
- ▶ 製品は丁寧に取り扱い、埃のない、きれいな場所に保存してください。
- ▶ 損傷が見てわかるとき、落下したとき、液体や物体が製品に到達したときは、製品を使用しないでください。この場合は資格のある専門ワークショップまたは Sennheiser サービス代理店にご連絡の上製品を検査させてください。
- ▶ 電源節約のため、使用後はヘッドホンのスイッチをオフにしてください。長期間、製品を使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
- ▶ 以下の場合、AC コンセントから電源ユニットを抜きます。
  - 製品を電源から完全に切断する場合
  - 雷雨の場合
  - 長期間使用しない場合
- ▶ 電源ユニットについて、以下の点を確認してください。
  - 安全な動作環境にあり、簡単に手の届くところにあること
  - AC コンセントに正しく差し込まれていること
  - 許容温度範囲内で動作していること
  - 長時間直射日光があたる場所がないこと（蓄熱を避けるため）

- ▶ ガラス製ダミーヘッド、椅子の肘掛けなどに長期間ヘッドホンを掛けないでください。ヘッドバンドが広がりヘッドホンの着圧が弱まるおそれがあります。
- ▶ ワニスや家具用艶出し剤は送信機の脚部を劣化させることがあり、家具を汚す原因になるおそれがあります。家具の汚損を防止するために、送信機は滑り止めパッドの上に設置するようにしてください。
- ▶ 本製品を熱源の近くで使用しないでください。
- ▶ 汚れを取り除くときは乾いた柔らかい布を使用してください。
- ▶ Sennheiser が提供または推奨する付属品、アクセサリ、スペア部品のみを使用してください。

#### ご使用上の注意点/責任

このワイヤレスヘッドホンシステムは、Hi-Fi システム、テレビセット、ホームシアターシステムでの使用に適しています。アナログ信号およびデジタル信号を共にサポートしています。

本製品は、ご家庭での私的な使用のみを想定したものであり、商用利用には適しません。また、携帯オーディオ機器との併用も想定されていません。

本取扱説明書および関連する製品ガイドに記載されていない用途で本製品を使用した場合は、不適切な使用とみなされます。

本製品および本製品の付属品 / アクセサリを悪用したり誤用したりした結果として生じる損害について、Sennheiser は責任を負いません。

本機器の操作を開始する前に、各国の規制についてご確認ください。

















## 乾電池/充電式電池の安全上の注意事項



## 警告

乾電池 / 充電式電池を正しく使用しないと、ひどい場合には液漏れすることがあり、次の危険を引き起こすおそれがあります：

- 爆発
- 発火
- 発熱
- 煙やガスの発生

	子どもの手の届かない場所に保管してください。		70 °C を超える温度にならないようにしてください。直射日光に当てたり、火に投げ込んだりしないでください。
	濡らさないでください。		充電式電池を長期間使用しない場合は、定期的に充電してください（約3ヶ月ごと）。
	分解したり改造したりしないでください。		製品を長期間使用しない場合は、乾電池 / 充電式電池を取り外してください。
	極性にご注意ください。		Sennheiser が推奨する充電式電池および充電器のみをご使用ください。
	乾電池 / 充電済み充電式電池は、端子同士が接触しないように梱包 / 保管してください。ショートしたり発火したりする危険があります。		不備のある乾電池 / 充電式電池は使い続けず、すぐに廃棄してください。
	電池を装着した製品は、使用後にスイッチをオフにしてください。		製品に明らかな不備がある場合は、乾電池 / 充電式電池を直ちにに取り外してください。
	充電式電池は、10 ~ 40 °C の温度環境でのみ充電してください。		乾電池 / 充電式電池は指定の回収場所で処分するか、専門業者に返却してください。
	乾電池を充電しないでください。		乾電池と充電式電池をバッテリー装着部に混在させないでください。

## RS 175 デジタルワイヤレスヘッドホンシステム

ホームエンタテインメントを次のレベルに引き上げる Sennheiser の RS 175 は、音楽やテレビを最大限お楽しみいただくために、数々の素晴らしい機能を、コンパクトで人間工学的に設計された筐体に収めてお届けします。リスニングモード Bass Boost と Surround Sound は、これまでにないホームエンタテインメントシステム体験を実現します。Bass Boost はパンチの効いた低音を返し、2 種類のバーチャルサラウンドモードはより空間的広がりのある生き生きしたステレオサウンドを響かせます。

その上、革新的なデジタルワイヤレステクノロジーにより、部屋から部屋へ移動しても、信号はクリアで正確に送信されます。さらに、設計はユーザーフレンドリーで、セットアップは簡単。RS 175 をらくらくと楽しむことができます。メインコントロールはヘッドホンについていますので、エキサイティングなオーディオ体験を妨げるものは何もありません。装着感も理想的で、長時間にわたって使用しても快適です。

Sennheiser の RS 175 をお使いいただければ、ホームエンタテインメントがさらに楽しくなります！

### 特長

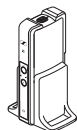
- 優れたデジタルワイヤレス伝送技術で音声通信を行う、クローズドタイプの耳覆い型ヘッドホン
- 抜群に明瞭なデジタル音声と最大 100 m の通信範囲（見通し線）
- Dynamic Bass モードとバーチャルサラウンドサウンドモードを切り替え、状況に応じたサウンドのカスタマイズを実現
- アナログ/デジタル音声入力をサポートし、入力の切り替えが可能
- 人知を尽くして設計された使いやすい各種操作ボタン
- 多目的送信機（簡単に充電できるクレードルおよびドッキングステーションとしてもお使いいただけます）
- マルチレシーバー通信（1 台の送信機でヘッドホンを最大 2 台まで同時に使えます）
- 人間工学に基づく設計により向上した快適な装着感
- 2 年の保証期間



## パッケージに同梱されている品目



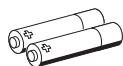
HDR 175 ヘッドホン



TR 175 送信機



国別変換アダプター付き電源ユニット  
(EU、UK、US、AU)



自己放電の少ないニッケル水素充電電池、単 4 形



光デジタルケーブル、1.5 m



3.5 mm ジャックプラグ付きステレオオーディオケーブ  
ル、2 m



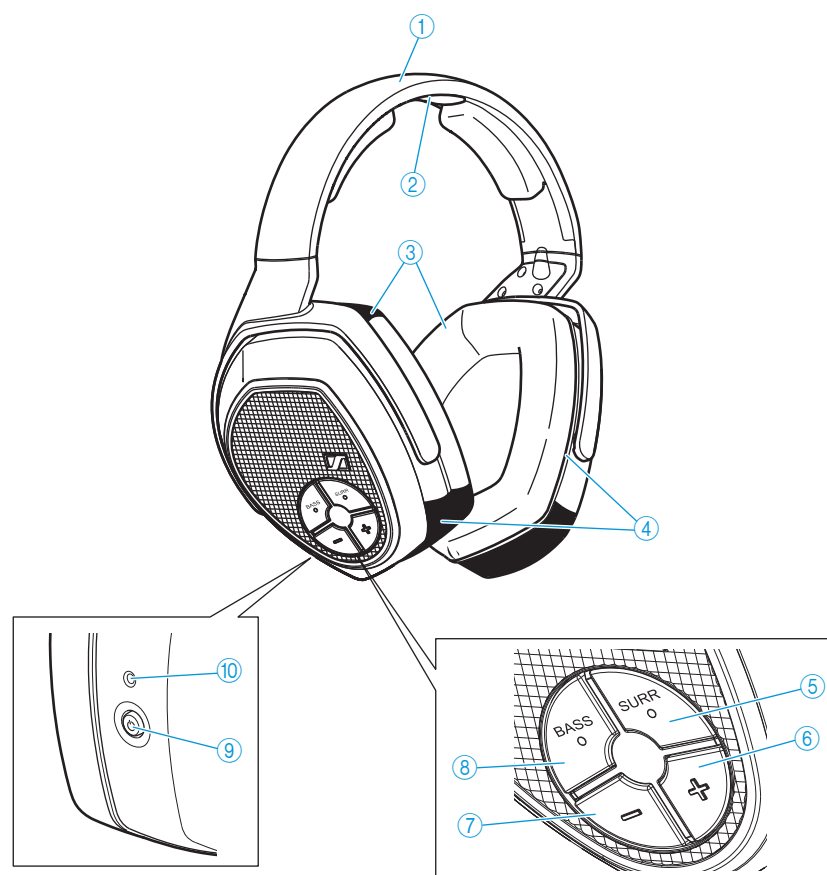
クイックガイド



セーフティガイド

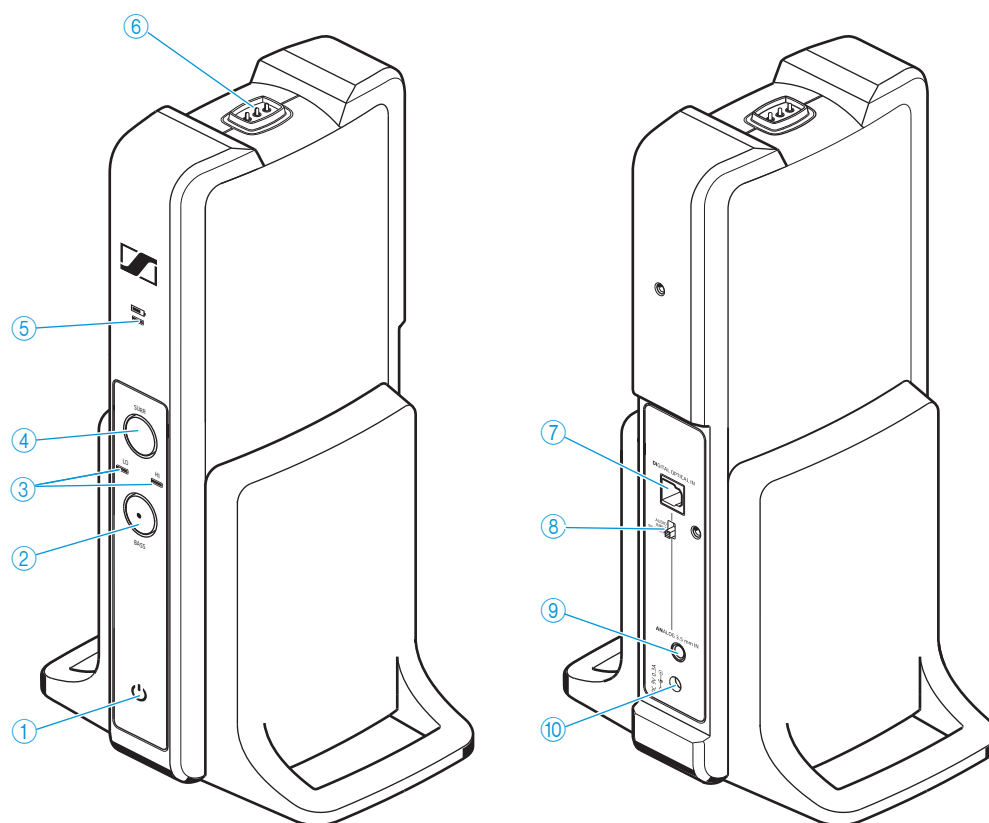
## 製品概要

### HDR 175 ヘッドホンの各部の名称



- ① ヘッドバンド
- ② 充電コンタクト
- ③ イヤークッション
- ④ イヤーカップ / バッテリー装着部
- ⑤ **SURR** バーチャルサラウンドサウンドボタン
- ⑥ 音量 + ボタン
- ⑦ 音量 - ボタン
- ⑧ **BASS** ボタン
- ⑨ HDR 電源ボタン 
- ⑩ HDR ステータス LED

## TR 175 送信機の各部の名称

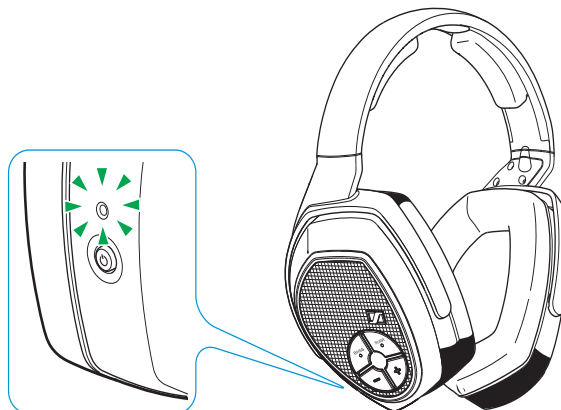


- ① TR ステータス LED
- ② BASS ボタン (LED インジケータ付き)
- ③ バーチャルサラウンドサウンド LED インジケータ、低 LO と高 HI
- ④ SURR バーチャルサラウンドサウンドボタン
- ⑤ 充電ステータス LED インジケータ
- ⑥ 充電コンタクト
- ⑦ DIGITAL OPTICAL IN 光デジタル音声入力
- ⑧ 入力選択スイッチ
- ⑨ ANALOG 3.5 mm IN アナログ音声入力 (3.5 mm ジャック)
- ⑩ 電源ユニット用ソケット (DC 9V 0.3A)

## 各インジケータの概要

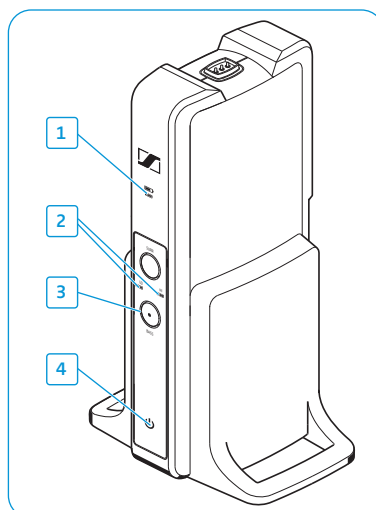
ヘッドホンおよび送信機の各 LED インジケータは、現在の動作状態を示します。ヘッドホンを使用していない場合、各 LED インジケータは何もしなくても約 30 秒後に自動的に消灯します。

### ヘッドホンの LED インジケータ



HDR ステータス LED	意味
	ヘッドホンがオフになっています。
	ヘッドホンと送信機が接続されています。
	ヘッドホンと送信機は接続されていますが、充電式電池の残量が非常に少なくなっています。
	ヘッドホンと送信機の接続が切断されているか、接続できません。
	ヘッドホンと送信機の接続が切断されているか、接続できません。また、充電式電池の残量が非常に少なくなっています。

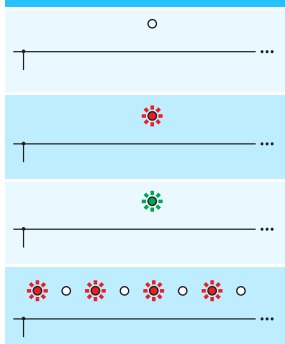
## 送信機の LED インジケーター



## 1

充電ステータス LED 

## 意味








送信機が充電されていません。

充電式電池を充電中です。

充電式電池がフル充電されました。

充電器 / 電池の故障が検出されました。

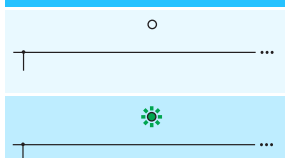
ヘッドホンを送信機のホルダーから外すと、およその動作時間が充電ステータス LED で示されます：

充電ステータス LED 	動作時間	電池残量
	最大 4 時間	0 ～ 25 %
	約 4 ～ 9 時間	25 ～ 50 %
	約 9 ～ 14 時間	50 ～ 75 %
	約 14 ～ 18 時間	75 ～ 100 %

## 2

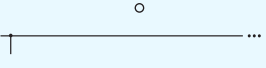

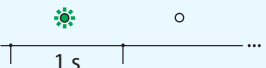
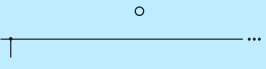

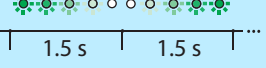
## サウンドサウンド LED

## 意味



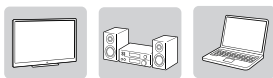
サウンドサウンドは無効になっています。

LO: 低サウンドサウンドモードが有効になっています。  
 HI: 高サウンドサウンドモードが有効になっています。

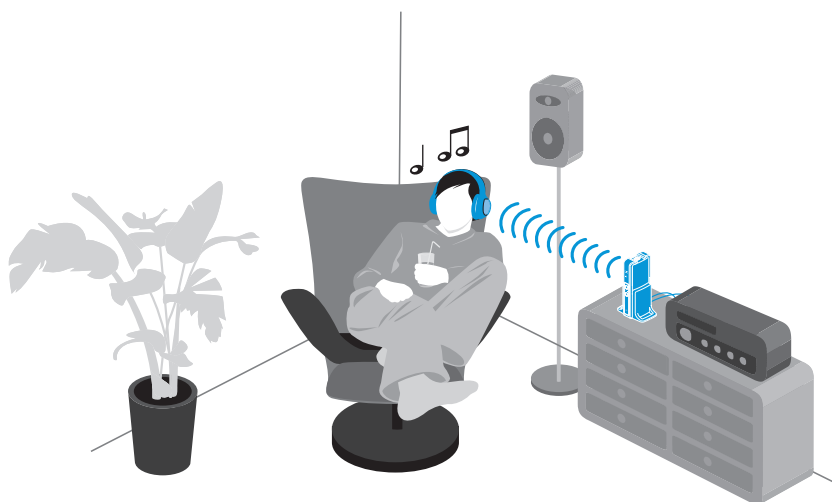
3	BASS LED	意味
		Dynamic Bass Boost が無効になっています。
		Dynamic Bass Boost が有効になっています。
4	TR ステータス LED	意味
		送信機が AC コンセントに接続されています。
		送信機がスタンバイモードです。
		ヘッドホンと送信機が接続されています。
		送信機により、互換性のないデジタルオーディオストリーミング入力（28 ページを参照）が検出されます。

## RS 175 を動作させる

### 送信機を設置する



- ▶ オーディオソースに近い、適した場所を選びます。
- ▶ 電波干渉を防止するために、室内にある他の無線機器から 50 cm 以上離して送信機を設置します。
- ▶ 送信機の電波の届く範囲が狭くなるため、メタルラック、鉄筋コンクリート壁などの金属物体の近くに送信機を設置しないでください。



## 送信機をオーディオソースに接続する

送信機には同時に 2 つの異なるオーディオソース (例: テレビとステレオ Hi-Fi システム) を接続できます。この送信機はデジタル音声入力とアナログ音声入力を備えています。2 つのオーディオソースを接続している場合、**AUDIO INPUT SELECTION** スイッチを使って、この 2 つを切り替えることができます (22 ページを参照)。

**i** デジタルワイヤレスヘッドホンシステムをテレビに接続する手順は、初心者向けのビデオガイド ([www.sennheiser.com/how-to-videos](http://www.sennheiser.com/how-to-videos)) でもご覧になれます。

- ▶ 送信機を接続する前に、オーディオソースをオフにします。
- ▶ お使いのオーディオソースで利用できる接続オプションを確認します (通常は、「OUT」と書かれたオーディオ出力)。
- ▶ 対応する接続ケーブルと適切なアダプター (必要な場合) を選びます。
- ▶ 選択した接続オプションに応じて該当する章に進み、記載されている手順に従って送信機をオーディオソースに接続します。

お使いのオーディオソースで 利用できる接続オプション		接続ケーブル	ページ
<b>A</b>	光 (デジタル)	光デジタルケーブル	14
<b>B</b>	3.5 mm または 6.3 mm のジャックソケット (アナログ)	ステレオオーディオケーブル。 6.3 mm ジャックソケットの場合、3.5 mm ジャックソケット - 6.3 mm ジャックプラグアダプターをご利用ください (アダプターは別途ご購入ください)	15
<b>C</b>	RCA (アナログ)	ステレオオーディオケーブルと 3.5 mm ジャックソケット - RCA プラグ x 2 アダプター (アダプターは別途ご購入ください)	16

**i** アクセサリおよびアダプターはお近くの Sennheiser 代理店からご購入いただけます。

A

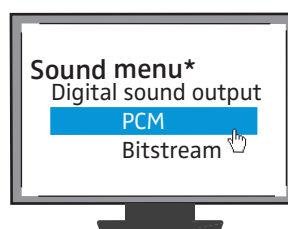
## 接続オプション A:光(デジタル)

実現しうる最高のリスニング体験のためには、付属の光デジタルケーブルを使用して、RS 175 ヘッドホンシステムをホームシアターシステムや Hi-Fi システムに接続することをお勧めします。

このワイヤレスヘッドホンシステムでは、光デジタル入力 **DIGITAL OPTICAL IN** 経由で接続されたデバイスから PCM 音声出力を使用している場合のみデジタルオーディオストリーミングが可能です。サウンドメニュー、またはデバイスの取扱説明書を参照して、別のオーディオストリーム(例: Bitstream)から PCM へ変更してください。

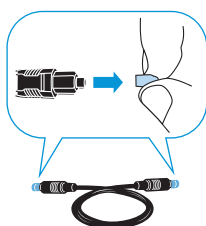


Digital

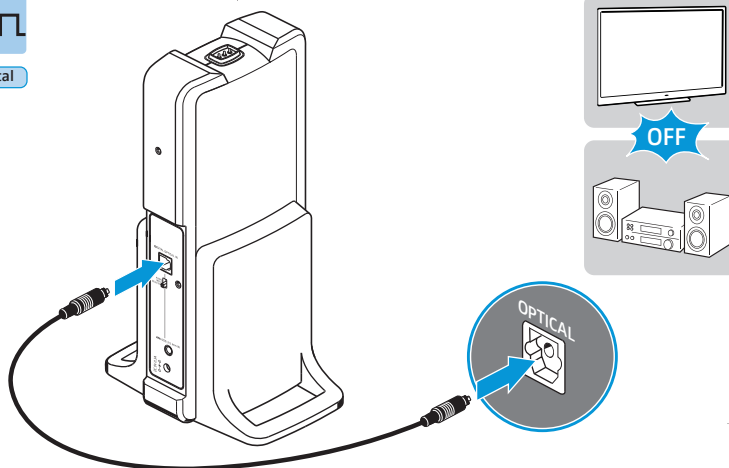


\* ご使用のデバイスに応じて、音声メニューが違います

- ▶ 送信機を接続する前に、オーディオソースをオフにします。
- ▶ ケーブルを接続する前に、両方のプラグについている透明な保護キャップを抜取ってください。
- ▶ 光デジタルケーブルの片端を送信機の **DIGITAL OPTICAL IN** 入力に、もう片方の端をオーディオソースの光出力に接続します。



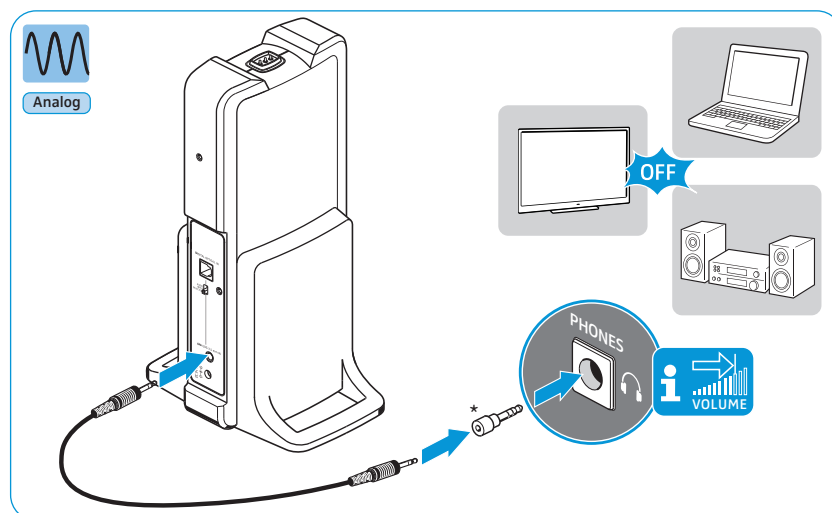
Digital



**B****接続オプション B: 3.5 mm または 6.3 mm のジャックソケット (アナログ)**

一部のテレビでは、送信機をヘッドホンソケットに接続すると、スピーカーがミュートされます。ミュート機能を無効にできるかどうか、お使いのテレビのメニューを確認してください。または、別のオプション (A または C) を使用して、テレビと送信機を接続します。

- ▶ 送信機を接続する前に、オーディオソースをオフにします。
- ▶ 必要な場合は、6.3 mm ジャックプラグアダプターをステレオオーディオケーブルに接続します。
- ▶ 送信機の 3.5 mm ジャックソケットとオーディオソースのヘッドホンソケットに、ステレオオーディオケーブルを接続します。



\* オプションのアクセサリ

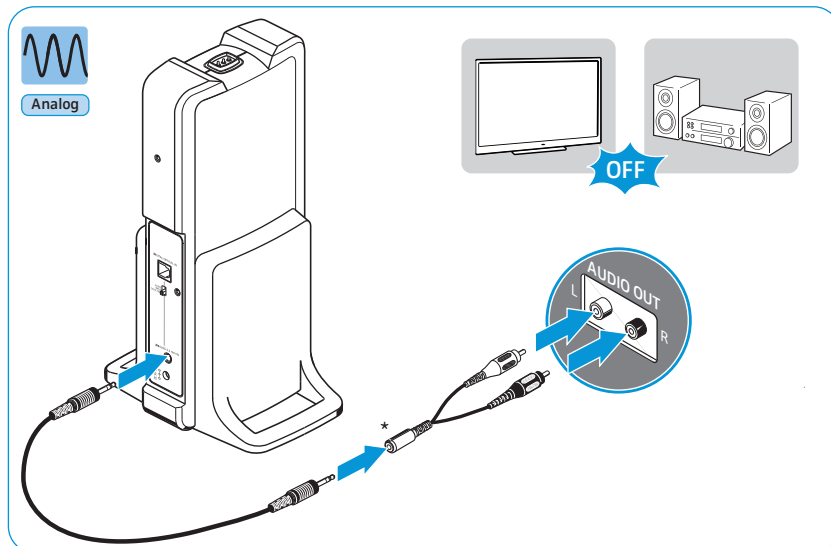


オーディオソースのヘッドホンソケットの音量を中間音量以上に設定します。

## C


## 接続オプション C: RCA (アナログ)

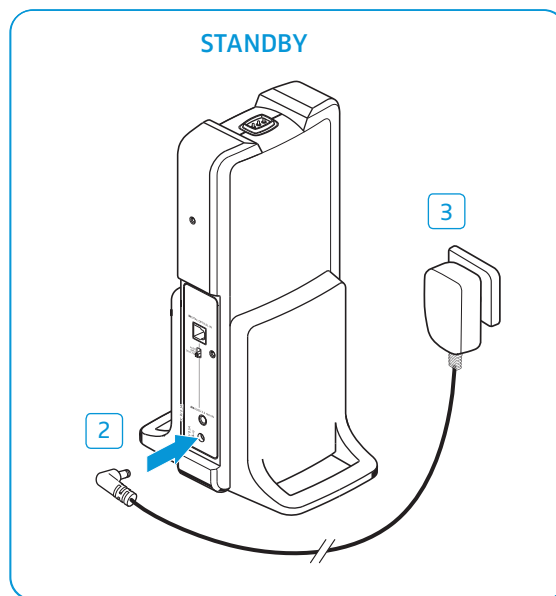
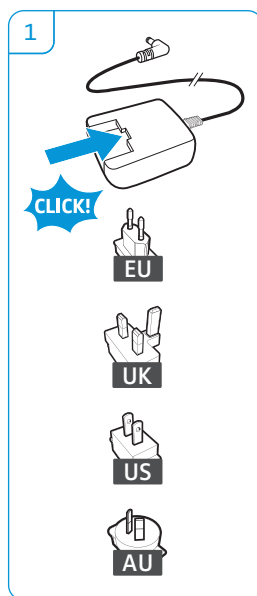
- ▶ 送信機を接続する前に、オーディオソースをオフにします。
- ▶ RCA アダプターをステレオオーディオケーブルに差し込みます。
- ▶ 送信機の 3.5 mm ジャックソケットにステレオオーディオケーブルを接続します。
- ▶ オーディオソースの RCA 出力(ほとんどの場合「AUDIO OUT」)に RCA プラグを接続します。赤い RCA プラグを赤色の RCA ソケットに接続し、白い RCA プラグを白色または黒色の RCA ソケットに接続します。



\* オプションのアクセサリ

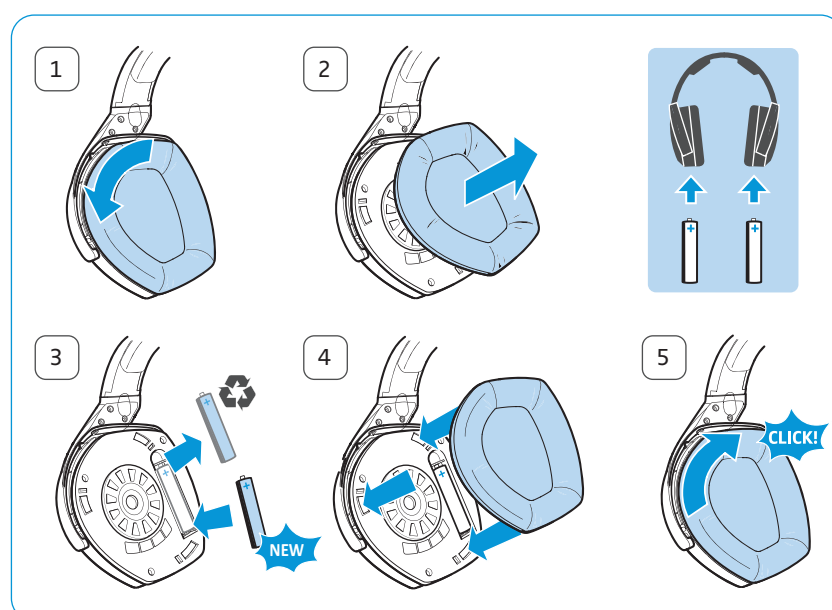
## 送信機を AC コンセントに接続する

- 1 コンセントに適合する国別アダプターを選択し、しっかりと収まるまで電源ユニットに押し込みます。
- 2 電源ユニットのコネクターを送信機の電源ソケットに接続します。
- 3 電源ユニットを AC コンセントに差し込みます。  
TR ステータス LED  が 1 秒間点灯します。送信機がスタンバイモードになります。



## 充電式電池を挿入、交換する

- 1 イヤークッションを反時計回りに回します。その際には軽い抵抗が感じられます。
- 2 イヤークッションをイヤークップから取り外し、バッテリー装着部を開きます。
- 3 充電式電池をバッテリー装着部に取り付けます。電池を交換する場合は、バッテリー装着部から電池を外して新しいものを取り付けます。電池を取り付ける際には、極性に注意します。使用済み電池は特殊廃棄物として処分するか、専門業者に返却してください。
- 4 イヤークッションをイヤークップに戻します。イヤークッションを元に戻すときは、イヤークッションの裏に付いている **L** (左) と **R** (右) のマークを確認してください。
- 5 カチッと音がするまでイヤークッションを時計回りに回します。イヤークッションがイヤークップにしっかりと取り付けられていることを確認します。



**i** ヘッドホンは乾電池（単 4 形、1.5 V）を電源にして使用することもできます。ただし、乾電池を充電することはできません。また、非充電式電池を使用している場合は、ヘッドホンをヘッドホンホルダーに掛けないでください。

## 充電式電池を充電する

**注意** ヘッドホンが故障するおそれがあります！

非充電式電池をバッテリー装着部に装着して充電すると、充電中に液漏れしたりヘッドホンが故障したりすることがあります。

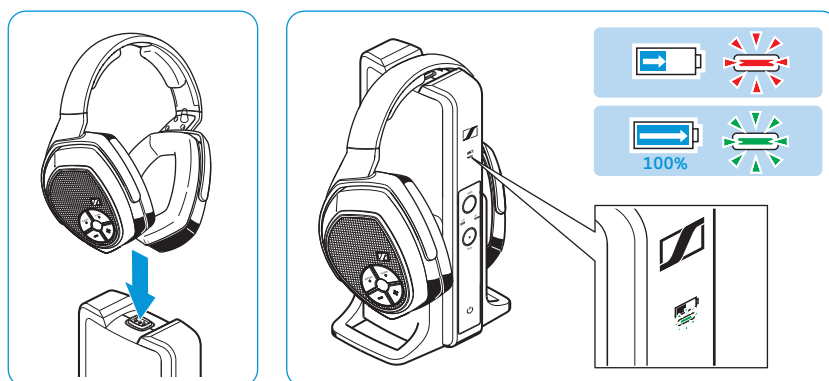
▶ 非充電式電池を使用している場合は、ヘッドホンをヘッドホンホルダーに掛けないでください。



通常のフル充電サイクルは約 8.5 時間です。ただし、ヘッドホンを初めて使用する場合は、電池の性能を最適化するために、16 時間以上続けて充電してください。

充電式電池の残量が非常に少なくなると、HDR ステータス LED が赤色に変わり、ヘッドホンからビープ音が発生します。その後、数分でヘッドホンがオフになります。

▶ ヘッドホンを送信機のヘッドホン充電器に掛けます。ヘッドホンの充電コンタクトと送信機が接触していれば、ヘッドホンはどちら向きに掛けてもかまいません。ヘッドホンが自動的にオフになり、送信機の充電ステータス LED が赤色に点灯します。充電式電池がフル充電されると、充電ステータス LED が緑色に変わります。



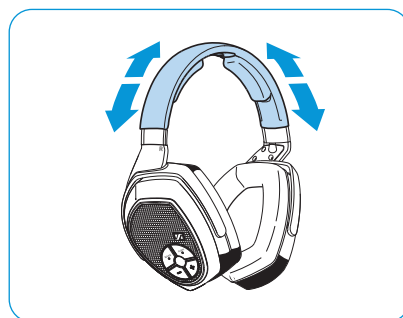
**i** 使用しないときはヘッドホンをヘッドホンホルダーに掛け、必要ときに電池がフル充電されているようにします。送信機には、過充電を防止するインテリジェントな充電テクノロジーが搭載されています。

ヘッドホンを送信機のホルダーから外すと、およその動作時間が充電ステータス LED で示されます（10 ページを参照）。

## ヘッドバンドの調整

優れた音質と快適な装着感を得るため、ヘッドホンが頭にフィットするようにヘッドバンドを調整してください。ヘッドホンには、スナップインロック方式で簡単に調整できるヘッドバンドが採用されています。

- ▶ ヘッドバンドが頭頂部に掛かるようにヘッドホンを装着します。ヘッドホンを装着するときは、外側のヘッドバンドに付いている **L** (左) と **R** (右) のマークを確認してください。
- ▶ 次の状態になるようにヘッドバンドの長さを調整します:
  - イヤークッションが耳を心地よく覆う
  - 両耳の周囲が均等に軽く押されるような感じになる
  - ヘッドバンドが頭に適度にフィットする



# RS 175 ヘッドホンシステムを操作する

## ワイヤレスヘッドホンシステムをオンにする



### 警告

大音量で聴くと危険です！

大音量で聴くと、長期的な聴覚障害につながるおそれがあります。

- ▶ ヘッドホンを装着する前、および音声入力を切り替える前には、ヘッドホンの音量を下げてください。入力を切り替えると、音量が急に大きくなり、聴覚を損なう可能性があります。
- ▶ 長時間にわたり大音量で聴くことはおやめください。

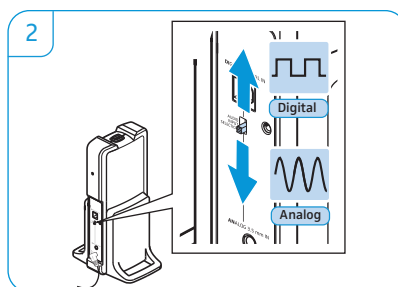
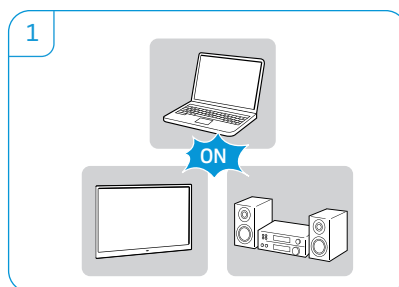


- 1 オーディオソースをオンにします。

ヘッドホンソケット (15 ページを参照) を使用してオーディオソースに接続している場合は、オーディオソース (テレビなど) のヘッドホンソケットで音量を調整し、中間音量以上に設定します。

- 2 **AUDIO INPUT SELECTION** スイッチを上下にスライドさせて、オーディオソースを選択します (22 ページ参照)。  
送信機のステータス LED が緑色に点灯します。

- 3 HDR 電源ボタン を約 2 秒間押し続け、ヘッドホンをオンにします。  
スタンバイモードの送信機が、ペアリングされているアクティブなヘッドホンを検出し、自動的に信号を送信します。送信機とヘッドホンのステータス LED が緑色に点灯します。

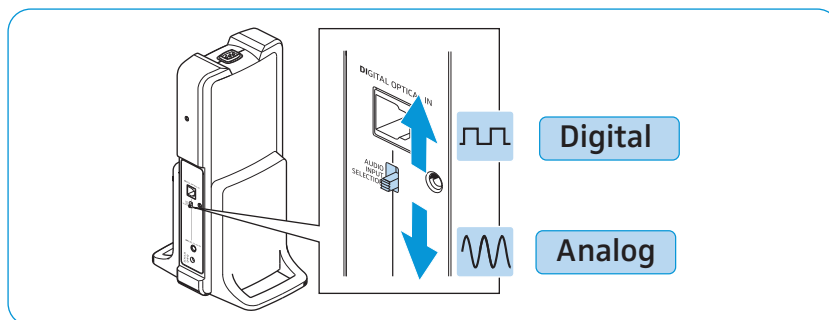


ヘッドホンを通信範囲外に置いたり、送信機からのオーディオ信号を受信できない状態が 5 分を超えたりした場合、ヘッドホンは自動的にオフになります。

## 音声入力を選択する

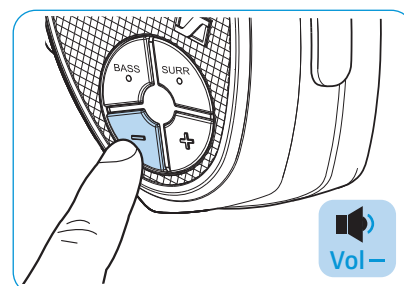
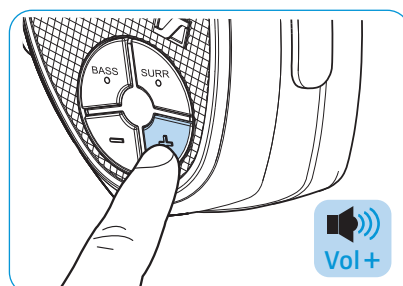
アナログ音声入力とデジタル音声入力の両方がそれぞれ異なるオーディオソースに接続されている場合、このヘッドホンシステムでは、2つの入力を切り替えることができます。

- ▶ 光デジタル入力に接続されたオーディオソースを聞くには、**AUDIO INPUT SELECTION** スイッチを押し上げます(14 ページ参照)。
- ▶ アナログ入力に接続されたオーディオソースを聞くには、**AUDIO INPUT SELECTION** スイッチを押し下げます(15 および 16 ページ参照)。





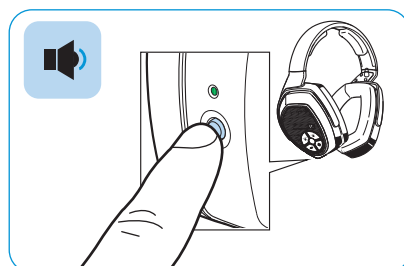
## 音量を調整する


- ▶ 音量 + ボタン、または、音量 - ボタンを押して、お好みの音量に設定してください。音量設定が最小または最大に達すると、ヘッドホンからビープ音が発生します。



## ヘッドホンをミュート/ミュート解除する

- ▶ ヘッドホンをミュートにする場合は HDR 電源ボタン  を押します。
- ▶ HDR 電源ボタン , または音量ボタン(+/-)のいずれかを押すと、ミュートは解除されます。



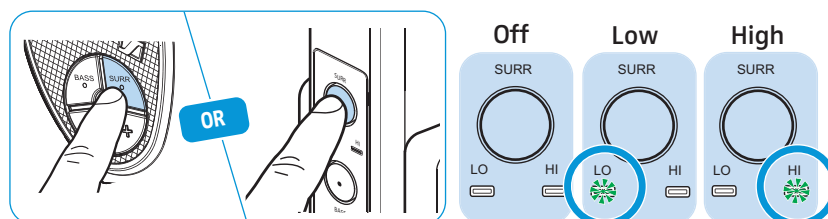
 ヘッドホンのミュート状態が 15 分間続くと、省エネのためにヘッドホンの電源は自動的にオフになります。

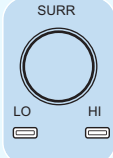


## バーチャルサラウンドサウンドを有効/無効にする

RS 175 ヘッドホンシステムには、外付けのステレオスピーカーの生成するサウンドをシミュレートし、空間的広がりのある生き生きしたサウンドを再現する 2 種類のバーチャルサラウンドモード(高 **HI**/低 **LO**) が用意されています。

ただし、サラウンド効果の強化は選択したモードによって異なります。個人的な空間的サウンド品質の好みに応じて、このモードは高 **HI** または低 **LO** に設定できます。

- ▶ ヘッドホンまたは送信機の **SURR** ボタンを押します。  
サラウンド効果は、オフと 2 種類のサラウンドサウンドモードの間で切り替えられます。モードは **LO**、**HI** LED で示されます。

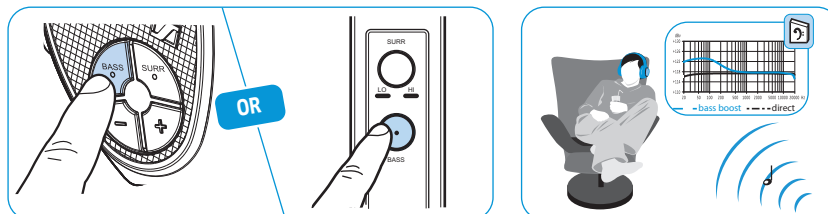



サラウンドサウンド LED	意味
	バーチャルサラウンドサウンドはオフになっています。
	低 <b>LO</b> バーチャルサラウンドサウンドモードが有効になっています。
	高 <b>HI</b> バーチャルサラウンドサウンドモードが有効になっています。

## Dynamic Bass Boost を有効/無効にする

Dynamic Bass Boost は、オーディオの低音反応を強化します。

- ▶ ヘッドホンまたは送信機の **BASS** ボタンを押します。  
**BASS** LED インジケーターで示されるとおり、Bass Boost エフェクトのオンとオフが切り替わります。



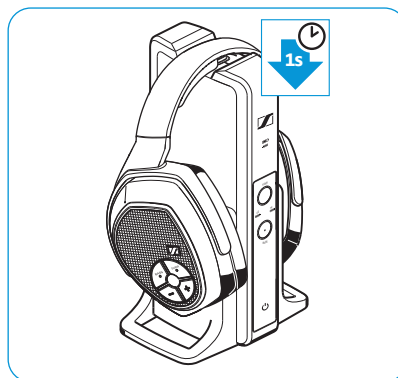
BASS LED	意味
	Bass Boost エフェクトが有効になっています。
	Bass Boost エフェクトが無効になっています。

## 1 台または複数のヘッドホンと送信機をペアリングする

同梱されているヘッドホンと送信機は、出荷時にすでにペアリングされています。次の手順が必要になるのは、ワイヤレスヘッドホンシステムからすべて消去してしまったペアリング情報を元に戻す必要がある場合、または別のヘッドホンを送信機とペアリングする必要がある場合のみです。

TR 175 送信機には、ペアリングされたヘッドホンを同時に 2 台まで接続できます。


- ▶ ヘッドホンを送信機のヘッドホンホルダーに 1 秒間掛けます。  
送信機の充電ステータス LED が赤色に点灯します。ヘッドホンが送信機とペアリングされます。

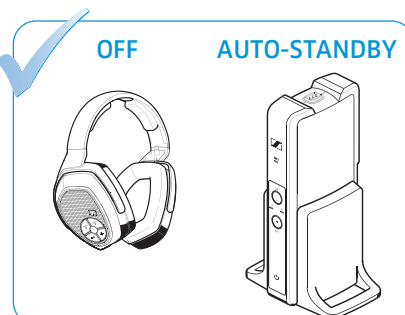
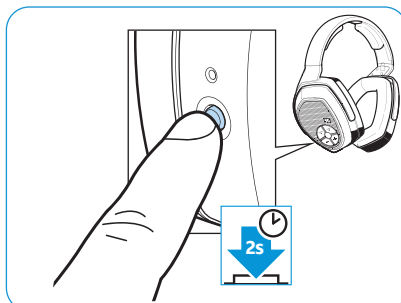


## ワイヤレスヘッドホンシステムをオフにする

ワイヤレスヘッドホンシステムをオフにする方法は2通りあります。

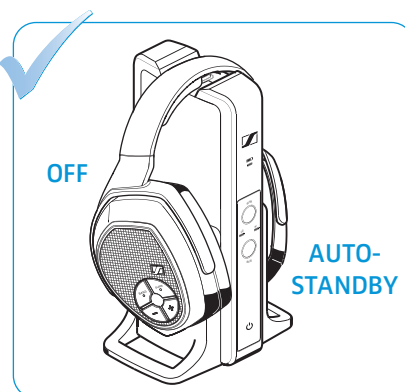
**A**

- ▶ HDR 電源ボタン  を約 2 秒間押し続けます。ヘッドホンがオフになります。他のアクティブなワイヤレスヘッドホンが送信機に接続されていない場合は、送信機がスタンバイモードに切り替わります。すべての LED が消灯します。



**B**

- ▶ ヘッドホンを送信機のヘッドホンホルダーに掛けます。ヘッドホンがオフになり、充電が始まります (19 ページを参照)。他のアクティブなワイヤレスヘッドホンが送信機に接続されていない場合は、送信機がスタンバイモードに切り替わります。



送信機を電源から切断するには、AC コンセントから電源ユニットを抜きます。

## RS 175 のクリーニングとメンテナンスをする

### 注意

液体を使うと、製品の電子部品が破損することがあります！

液体が製品の筐体内に入って、電子部品がショートし破損する原因になることがあります。

- ▶ 製品に液体を近づけないでください。
- ▶ 溶剤や洗剤は一切使用しないでください。

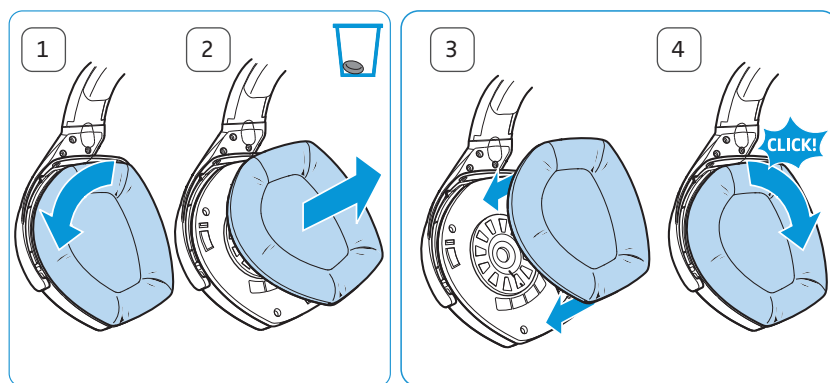
ワイヤレスヘッドホンシステムのクリーニング方法は次のとおりです：

- ▶ ワイヤレスヘッドホンシステムをオフにし、送信機を AC コンセントから抜いたうえでクリーニングします。
- ▶ 汚れを取り除くときは乾いた柔らかい布を使用してください。

### イヤー Cushion を交換する

衛生的にお使いいただくために、イヤー Cushion は時々交換してください。交換用のイヤー Cushion はお近くの Sennheiser 代理店でお求めいただけます。

- 1 イヤー Cushion を反時計回りに回します。その際には軽い抵抗が感じられます。
- 2 イヤー Cushion をイヤーカップから取り外し、適切に処分します。
- 3 新しいイヤー Cushion をイヤーカップに取り付けます。イヤー Cushion の裏に付いている **L** (左) と **R** (右) のマークを確認してください。
- 4 カチッと音がするまでイヤー Cushion を時計回りに回します。イヤー Cushion がイヤーカップにしっかりと取り付けられていることを確認します。



ヘッドバンドのパッドは修理サービスにて交換可能です。Sennheiser 取扱店へお問い合わせください。

## エラーが発生した場合

### 音の問題

問題	考えられる原因	考えられる対応策	ページ
音が聞こえない	ヘッドホンがオフになっています。	ヘッドホンをオンにします。	21
	電源が接続されていません。	電源ユニットが接続されているかどうか点検します。	17
	ヘッドホンがミュートになっています。	ミュートを解除します。	22
	オーディオプラグが正しく差し込まれていません。	オーディオプラグの接続を点検します。	13
	オーディオソースがオフになっています。	オーディオソースをオンにします。	-
	アナログオーディオソースの音量が、最小に設定されているかミュートになっています。	オーディオソースの音量を中間音量以上に上げるか、オーディオソースのミュートを解除します。	-
	オーディオケーブルが破損しています。	オーディオケーブルを交換します。	-
	ヘッドホンが送信機と正しくペアリングされていません（例：追加したヘッドホン）。	ヘッドホンと送信機をペアリングし直します。	25
	正しい音声入力を選択されていません。	別の音声入力を選択します。	22
ときどき音が途切れる	デジタル音声接続に、互換性のないデータ通信設定が使用されています。	デバイス / オーディオソースのデジタル音声出力を「PCM」に設定し、サンプリングレートを最大の 96 kHz にしてください（オーディオソースの取扱説明書を参照してください）。	-
	送信機の通信範囲外にヘッドホンがあります。	ヘッドホンと送信機の距離を短くします。	-
	信号が遮られています。	送信機とヘッドホンの間にある障害物を取り除きます。	-
	電波干渉を起こす機器（WLAN ルーター、Bluetooth 機器、電子レンジなど）が近くにありますが。	送信機またはヘッドホンの位置を変えます。 他のワイヤレス機器から 50 cm 以上離して送信機を設置します。	12 -
音が小さすぎる	ヘッドホンの音量設定が低すぎます。	ヘッドホンの音量を上げます。	22
	アナログオーディオソースの音量設定が低すぎます。	アナログオーディオソースの音量を中間音量以上に上げます。	-
ヘッドホンとテレビの音を使用するこ だます	一部のテレビでは、デジタルオーディオ出力のオーディオ信号の遅延または待機時間を調整できます。	お使いのテレビのオーディオ出力の設定を確認し、待機時間を「0」に設定します。	-
音が片側からしか聞こえない	オーディオケーブルが正しく接続されていません。	プラグの接続を点検します。	13
	オーディオケーブルが破損しています。	オーディオケーブルを交換します。	-
音がひずむ	オーディオソースの信号がひずんでいます。	オーディオソースの音量を下げます。	-
	ヘッドホンの音量設定が高すぎます。	ヘッドホンの音量を下げます。	22
	アナログオーディオソースの音量設定が高すぎます。	アナログオーディオソースの音量を中間音量以下に下げます。	-

## その他の問題

問題	考えられる原因	考えられる対応策	ページ
送信機がオンにならない	電源が接続されていません。	電源ユニットが接続されているかどうか点検します。	17
ヘッドホンがオンにならない	充電式電池の残量が非常に少なくなっています。	充電式電池を充電し直します。	19
	バッテリー装着部に電池が取り付けられていません。	充電式電池を取り付けます。	18
	充電式電池が逆向きに取り付けられています。	充電式電池をヘッドホンから外して取り付け直します。極性にご注意ください。	18
動作時間が短い	充電式電池が消耗しています。	新しい充電式電池に交換します。	18
ヘッドホンからビープ音が聞こえる	充電式電池の残量が非常に少なくなっています。	充電式電池を充電し直します。	19
ヘッドホンを送信機に接続できない	送信機までの距離が遠すぎます。	送信機までの距離を短くします。	-
	ヘッドホンが送信機とペアリングされていません。	ヘッドホンと送信機をペアリングします。	25
	別のヘッドホンを充電しているため、2つ目のヘッドホンをペアリングできません。	近距離ペアリングを実行します： 1. 送信機のできるだけ近くにヘッドホンを置きます。 2. ヘッドホンをオンにします。 3. 音量ボタンの+と-を約7秒間、同時に押し続けます。	-
	ヘッドホンが対応していません。	Sennheiser HDR 165、175、185、または195 ワイヤレスヘッドホンのみを使用します。	-

一覧に記載されていない問題が発生した場合、または一覧に記載されている対応策で問題を解決できない場合は、弊社 Web サイト ([www.sennheiser.com](http://www.sennheiser.com)) の RS 175 製品ページから FAQ (よくあるご質問) の最新のご質問一覧をご覧ください。


また、お近くの Sennheiser サービス提携会社にお問い合わせいただくこともできます。お住まいの国の Sennheiser サービス提携会社は、[www.sennheiser.com](http://www.sennheiser.com) で検索できます。

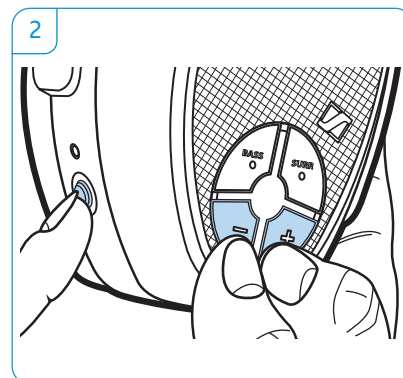
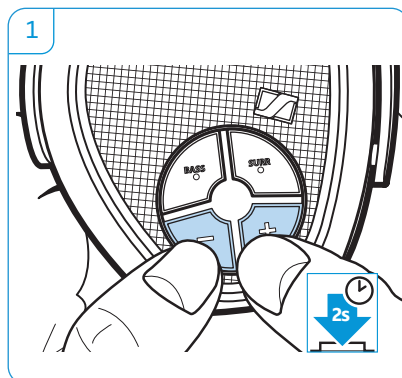


## 送信機の電波が届く範囲から外れる

送信機の電波が届く範囲は、壁の厚みや壁の構造といった環境条件によって大きく異なります。送信機の電波が届く範囲からヘッドホンが離れると、音声途切れ始め、最終的には完全に音が聞こえなくなります。電波の届く範囲に5分以内に戻れば、接続は自動的に再確立されます。電波の届く範囲外にいる時間が5分を超えると、ヘッドホンは自動的にオフになります。

## ヘッドホンのペアリング設定を消去する

- 1 音量ボタンの **+** と **-** を2秒間、同時に押し続けます。  
HDR ステータス LED が赤色になり、急速に点滅します。
- 2 音量ボタンの **+** と **-** を押したまま、HDR 電源ボタン  を押します。  
3つのボタンすべてを離します。  
電池の状態に応じて HDR ステータス LED が緑色または赤色に点灯し、ゆっくり点滅し始めます。ヘッドホンのペアリング設定が消去されました。



# 仕様

## RS 175 システム

伝送周波数	2.40 ～ 2.48 GHz
変調方式	8-FSK デジタル
SNR	アナログ入力: 通常 85 dBA、1 V <sub>rms</sub> デジタル入力: > 90 dBA
RF 出力電力	最大 10 dBm
通信範囲	最大 100 m (見通し)
同時接続できるヘッドホンの最大数	2 台
温度範囲	動作: 0°C ～ +40°C 保管時: -25°C ～ +70°C
相対湿度	動作時: 10 ～ 80%、結露しないこと 保管時: 10 ～ 90%

## HDR 175 ヘッドホン

形式	耳覆い型クローズドタイプ
トランスデューサーシステム	ダイナミック、ネオジウムマグネット
周波数特性	17 Hz ～ 22 kHz
最大音圧レベル	最大 114 dB (1 kHz)、3% THD
ひずみ率	< 0.5% 未満 (1 kHz、100 dB SPL)
動作時間	最大 18 時間
充電式電池の充電時間	最大 8.5 時間
電源	自己放電の少ない単 4 形ニッケル水素 充電電池 2 個、1.2 V、820 mAh
磁界強度	2.7 mT
質量 (電池を含む)	約 310 g
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	約 17 cm x 20 cm x 9.5 cm

## TR 175 送信機

接続	デジタル: 光 アナログ: 3.5 mm ステレオジャックソケット
電源	9 V 電池、300 mA
消費電力	動作時: 通常 4 W スタンバイモード: ≤ 0.3 W (充電なし)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	約 12.7 cm x 23.4 cm x 10 cm

## Sennheiser NT 9-3AW 電源ユニット

定格入力電圧 /	100–240 V ~ /
定格入力電流	100 mA
電源周波数	50–60 Hz
定格出力電圧	9 V ===
定格出力電流	300 mA

温度範囲	動作時 : 0℃ ～ +40℃
	保管時 : -40℃ ～ +85℃
相対湿度	動作時 : 0 ～ 90%、結露しないこと
	保管時 : 0 ～ 90%

## メーカーの宣言

### 保証

Sennheiser electronic GmbH & Co. KG は、この製品を 24 ヶ月間保証いたします。

現在の保証条件については、弊社ウェブサイト [www.sennheiser.com](http://www.sennheiser.com) をご覧になるか、最寄りの Sennheiser 正規取扱店にお問い合わせください。

### 準拠する要件

#### EU 適合宣言書



- ErP指令(エネルギー関連製品のエコデザイン指令) (2009/125/EC)

- RoHS 指令 ( 特定有害物質使用制限指令 ) (2011/65/EU)

Sennheiser electronic GmbH & Co. KG は、以下のデバイスが無線機器指令 (2014/53/EU) に適合していることを宣言します:  
RS 175 (TR 175, HDR 175)

EU 適合宣言書の全文は、[www.sennheiser.com/download](http://www.sennheiser.com/download) から入手していただけます。

#### 廃棄に関する注意事項



- WEEE 指令 (2012/19/EU)
- バッテリー指令 (2006/66/EC & 2013/56/EU)

製品、バッテリー (ある場合)、および梱包に記載されている車輪付のゴミ箱に罰印をしたマークは、これらの製品が耐用年数を過ぎても通常の家庭用廃棄物として処分できず、他の方法で廃棄する必要があることを知らせるものです。梱包の場合はお住まいの国の廃棄物分別に関する法的規制を遵守してください。

これらの製品のリサイクルに関する情報については、お住まいの地域当局、自治体の収集または回収場所、または最寄りの Sennheiser パートナーまでお問い合わせください。

廃棄する電気電子機器、バッテリー (ある場合)、および梱包の分別回収は、再使用およびリサイクルを促進し、発生し得る汚染物質を避けることができます。このようにすることで、環境と健康の保護に貢献することができます。

### 高周波被曝に関する情報

本製品の高周波放射量は米国連邦通信委員会 (FCC) が規定する高周波被曝限度を大幅に下回るため、FCC 規則のセクション 2.1093 に定められている高周波被曝評価の対象ではありません。

### 商標

Sennheiser は Sennheiser electronic GmbH & Co. KG の登録商標です。

本取扱説明書で言及しているその他の製品名および会社名は、それぞれの所有者に帰属する商標または登録商標です。



**Sennheiser electronic GmbH & Co. KG**

Am Labor 1, 30900 Wedemark, Germany  
[www.sennheiser.com](http://www.sennheiser.com)

Publ. 09/19, A05